



検査ニュース

No.166

ご挨拶

平素より佐賀県医師会成人病予防センター業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
今回は、「新規検査項目」と「検査内容変更」について、ご案内します。

佐賀県医師会成人病予防センター
担当理事 志田 正典

●新規検査項目

◆Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体 (M2BPGi) (平成 27 年 11 月 2 日ご依頼分より)

ウイルス性肝炎は、日本では約 300 万人が感染する国内最大の感染症であり、感染した状態を放置すると、肝細胞がんへ進行する可能性があるなど重篤な病態を招く疾患です。

肝臓の病態把握には、線維化の程度を評価することが臨床上有用であるとされており、その検査として肝臓組織の一部を針で採取して行う肝生検が主流となっています。しかしながら、肝生検は身体的な負担も大きいいため、より簡便に肝線維化の進行度を診断ができる方法が望まれていました。

M2BP は分泌性糖タンパク質であり、その糖鎖構造が肝臓の線維化進展により顕著に変化することが報告されております。本検査は、変化した糖鎖構造に特異的なレクチンを用いることにより、血清中の M2BPGi を検出いたします。

肝線維化の進展に伴い優位に高値となり、肝生検との一致率も高いと言われると同時に、既存の肝線維化マーカーとの比較でも M2BPGi は、高い診断能を有すると報告されています。

【判定基準】

検査項目	検体量 (ml)	容器	実施料 判断料	所要日数	検査方法	基準値 (単位)
Mac-2 結合蛋白 糖鎖修飾異性体 (M2BPGi)	血清 0.5	スピッツ	200 ※3	4~6	CLEIA	(-) 右記参照

判定	C.O.I.
陰性(-)	1.00未満
陽性(1+)	1.00~3.00未満
陽性(2+)	3.00以上

※3 生化学的検査(I)判断料

●検査内容変更のご案内

◆インフルエンザウイルスA型・B型 (HI法) (平成 27 年 11 月 2 日ご依頼分より)

使用抗原株を平成 27 年度ワクチン株に対応した抗原株に変更いたします。なお、検査方法および基準値等の変更はございません。

案内書 掲載頁	項目コード No	検査項目	ウイルス抗原株		
			新	旧	
64	1851	インフルエンザ ウイルスA型 (H1N1)	A/カリフォルニア/7/2009pdm09 (変更ございません)		
		(H3N2)	A/スイス/9715293/2013		
	1848	インフルエンザ ウイルスB型	B-1	B/プーケット/3073/2013 (山形系統)	B/マサチューセッツ/2/2012 (山形系統)
			B-2	B/テキサス/2/2013 (ビクトリア系統)	B/ブリスベン/60/2008 (ビクトリア系統)

pdm: Pandemic

停電に伴う休日緊急検査の対応について (お願い)

下記日程において、当館電気設備の定期電気保安点検に伴い**全館停電となるため、当日の午前中は緊急検査が対応できない**こととなります。

つきましては、停電の解除後の**検査開始時間は 12 時 (予定)**となりますので、よろしくお願い申し上げます。

日程：平成 27 年 11 月 29 日 (日) 午前 8 : 30 ~ 10 : 30 (予定)